

令和2年度

社会福祉法人 友垣福祉会

ラスカル保育園

事業報告書

令和2年度 ラスカル保育園年間事業報告書

1 ラスカル保育園々舎、敷地の管理規模

所在地 沖縄県うるま市石川1916番地7

敷地面積 1,482㎡

施設面積 1階 420.21平方メートル

2階 241.07平方メートル

符号1

物置 鉄筋コンクリート造陸屋根平家建 12.87平方メートル

2 児童定数及び職員数の管理及び確保（年度末）

☆ 児童定数 75名

令和2年度児童数（年度末人数） 73名

内 訳

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
園児数	8名	12名	12名	15名	16名	10名
職員数	3名	2名	2名	1名	1名	1名

主任保育士1名 フリー保育士 1名 保育補助 5名
その他 園長 事務1名 調理2名

☆ 職員総数 21名

3 職員研修

今年度は月 1 回 土曜日に時間を設定し園内研修を行いました。家庭保育ができる方は、保護者にも協力を頂き、細切れにならないよう内容をじっくり学びあう機会となりました。クラス内の園児の成長や家庭環境を周知しケース会議・気になる子の情報交換 更に、外部で受けた研修の報告会も行いました。

今年度は、コロナの影響もあり、ほぼリモートの研修になりましたが、開催された研修は機会をとらえ受けるようにしました。特にキャリアアップの為の研修会を専門分野別に 6 名の専門リーダーが 2 日間の研修を受けることで、保育士としての資質をさらに向上させる機会が得られ園内研修でも他の職員に申し送りしてもらいました。うるま市主催の職員研修等を受講し新たな学びの機会を持つようにしました。なお、各クラスの園児の成長発達の経過について毎月情報を共有することで、成長の状況や課題を共有し担任以外でも声掛けや対応ができる体制を作り、より理解を深めることができました。その他、保育の技術を深め専門性を高めるために虐待や食物アレルギーの研修会等、保育士・調理員が参加しました。

4 保育活動

今年、コロナ禍の中で保護者が室内を出入りすることは、極力遠慮していただきましたが、0 歳児のクラスでは、人数制限で二日間にわたり食事を中心とした保育の様子を見ていただく事ができ、子どもたちの日常の園生活の様子を見学し成長した姿を確認してもらうことができました。例年どおり卒園する園児は個人面談をもち、次の学校へのつなぎの話し合いを担当が 1 対 1 でじっくり話し合い保護者支援につなげています。

絵本の家庭への貸し出しは継続し、読み聞かせの充実とわらべ歌をとおして異年齢交流を行い、昔ながらのリズムで心地よく活動できました。

年長児のお楽しみ保育は、コロナ禍の中ではありましたが、保護者に参加有無の同意書を頂き宜野座のビーチで、海水浴やシーカヤックに乗り、湾を一周する体験やヤドカリと触れ合ったり滅多にできない体験をすることができました。又、恒例のお化け屋敷に勇気をもって一人で入っていくという体験型の充実した一日を過ごすことができ、思い出深い一日になったようです。更に、自分たちで育てたすいかですいか割り、又 冬野菜を収穫しシンメナービーでカレーを作り職員・園児と全体で食べるカレーパーティーをおし食育へとつなげていくことができました。

年度前半は、コロナウイルスの流行を受け小中高の休校もあり行事も中止や縮小をする形になりましたが、家庭との連携と協力を得て無事、感染や事故もなく過ごせました。今年度は地域活動として城北区自治会の新しい公民館までハロウィンの仮装で行列を作り全員で踊りを踊ったりと地域の方との交流をもちました。

経験不足を補う形で、少しでも経験できることを今後も計画するようしていきたい

いと思います。

5 特別保育事業

延長保育の利用は、月契約の園児も毎月数名おり、夕方6時から7時までの間、利用で日々の単発利用者と合わせて年間延べ134名の利用がありました。月契約もあり一日平均1名から2名ですが保育士二名で預かっています。

6 ボランティア活動

ちびっこ掃除団は、昭和61年に結成されて以来、石川地区法人保育園5カ園で活動を続けておりましたが、今年度は、コロナ禍の中なので他園と集まることはせず、各園での活動に切り替えましたが、1月の嘉手苅観音堂は、子供たちの健康祈願の為、由来の説明を行い全員で手を合わせ千羽鶴を奉納しました。

7 児童及び職員の健康管理と福利厚生

児童の歯科、内科検診、蟻虫検査、尿検査は基準にそってそれぞれ年2回行ないました。又、いち早く感染状況を把握する目的で毎日園児の体温チェックで、健康状態の確認を念入りに行い、気になる症状はお迎えをして頂くように協力してもらいました。コロナウイルスの感染で手洗いとうがいの励行が推進されたせいか、インフルエンザ等の感染症が一人もなく手洗いとうがいの大切さが改めて再確認されました。また、感染予防のための予算を頂きいち早く、各部屋にウイルス除菌の効果があるというオゾン生成器を取り付けアルコール消毒と合わせて予防に努めました。保護者の協力をもらいながら感染の予防に努められホッとしているところです。この自粛期間は園児も少ない事を踏まえ、職員も半数は在宅勤務という形で日頃できない事を各自で考えじっくり自主的な学びとしました。その後、職務会で在宅の時に何を実践したかを報告しあったので園児や保育に生かせるよう努めてもらいました。

8 予算の管理執行

今年度は、暑さ対策の為園庭や廊下側に日よけのひさしを取り付けたり、古くなった園バスを購入したりと予算の取り崩しもあり、積立はできませんでしたが、今後必要なところに予算を活用し適切に運用していきたいと思っています。

9 その他

※ 気になる子（配慮を要する子）を、保護者と園で連携し専門機関につなげ該当児の支援につなげることができました。

（保護者との面談・ヘルパー加配申請・のびのび相談・支援事業所との連携）

- ※ 学生の実習受け入れで、年少児の保育に親しんでもらいました。
- ※ 園児が入る幼稚園・学校等がスムーズに対応できるよう担当者と卒園する児の申し送り等もしっかり行いました。
- ※ 幼稚園に進んだ卒園児の保護者とのトラブルで、教諭から相談があり、継続して連携相談にのりました。
- ※ 新型コロナウイルスの為、卒園式の形式も短縮しましたが無事感動的な式を行う事ができました。

これからも、社会の状況に対応しつつ安全かつ適正な保育園の運営に努めて行いたいと思います。